



発行元 群馬県立藤岡中央高等学校 地域連携部 ひびき係  
所在地 〒375-0015 群馬県藤岡市中栗須909番地 TEL 0274-24-6660 FAX0274-24-6661  
URL <https://fuyouu-hs.gsn.ed.jp/> E-mail [fujityu-hs@edu-g.gsn.ed.jp](mailto:fujityu-hs@edu-g.gsn.ed.jp)

## 2年生で「ふじおか未来探究」がスタートしました

2年普通科クラスの「総合的な探究の時間」で、ふじおか未来探究がスタートしました。ふじおか未来探究とは、「藤岡市をより良くするために、高校生としてできるアイデアを考えて市役所職員や地域住民の方々に提案する」ことを目標にした探究活動です。今年度は、地域の多くの方々のご協力のもと、5月2日(火)に本校で藤岡市の概況についてのレクチャーとワークショップ、5月30日(火)に現地のフィールドワークを実施しました。

### ■5/30(火)フィールドワーク

この日の午後、普通科クラスの生徒全員が、市内8地区の担当グループに分かれて各地区の地域づくりセンターを巡り、区長さんなどから話を伺い、周辺地域の巡検を行いました。それぞれの地区への移動は中型バス、マイクロバス、自転車などを使用しました。生徒たちも実際にそれぞれの地区で詳しいお話を伺ったり、周辺の施設やマチを見て回るなかで、様々な気付きを得ていたようです。今後、生徒たちはこの日の成果を踏まえて、藤岡の良いところや課題点を整理し、地域の方々への提案を検討していくことになります。当日お世話になった皆さん大変ありがとうございました。



**郷土の良さ 課題を探究す**  
藤岡中央高校 2年生約90人が、市内各

地でフィールドワークを行い、身近な歴史文化に触れながら地域の振興の糸口を探った。

生徒たちは市内の8地区に分かれ、各区長から地域の特色や抱える問題について話を聞いた。日野地区を回った生徒は、3人の区長から「意外と知られていない城がある」「緑化で地域の祭りを持てるのが大変」といった説明を受けた後、実際に城跡や地元の神社などを回った。写真。

市内在住だが同地区になじみがなかったという新井通佳さんは「市街地でないきれいな自然が良い。人口が減ることで行事ができず、さらに過疎化が進んでいく現状を知った。どうすればいいか考えていきたい」と語った。

同校の総合的な探究の時間「ふじおか未来探究」の一環で、地域との関わりから自身を見つめ直す取り組み。(飯島礼)

6月11日上毛新聞より



# さまざまな全校行事が全校生徒が一堂に会する形で実施されました

## ■5/11(木)高校総体壮行会と前期生徒総会の開催

昨年度までコロナ禍でオンラインを活用しながら変則的な実施となっていた高校総体壮行会と前期生徒総会が、ようやく4年ぶりに全校生徒を第一体育館に集めて行われました。まだマスク姿が目立ってはいましたが、このように開催できたことを、生徒たちも大変喜んでいました。



●運動部部員による決意表明



●生徒総会



●総会議長

## ■5/17(水)開校記念行事(芸術鑑賞教室)

今年創立19周年をむかえる本校の記念行事として、元T-SQUAREの宮崎隆睦(みやざきたかひろ)さんとピアノ、ベース、ドラムの4人によるジャズの演奏会が、本校第一体育館を特設会場として行われました。宮崎さんの解説もあり生徒たちはでジャズをととても身近に感じられていたようです。



# PTA総会が4年ぶりに通常開催となりました

## ■5/20(土)PTA総会と関連行事

PTA総会と関連行事が4年ぶりに通常開催されました。424名の保護者のうち、授業公開が53%、PTA総会が44%、学年・学級懇談会が57%の出席となり、出席率は過去最高でした。この日、約69.6%の保護者に何らかの形で来校していただきました。これまでコロナ禍でPTA活動も大きく制限されていましたが、これを期に活動が正常軌道に戻るとよいと思います。総会では、本部役員さんを中心としたスムーズな議事運営が行われました。

## ■5/25(木)PTA全体会 5/27(土)花壇整備

PTA総会の翌週は、本部役員と学年委員が一同に会した全体会と、福利厚生委員さんと本部役員さんによる花壇整備が行われました。



授業公開



PTA総会



本部役員による進行



1年学級懇談会



2年学年保護者会



3年学年保護者会



# 3年生でも様々な行事が行われました



## ■5/30(火)ガーナとオンラインで結んだ 3年理数科の課題研究授業がスタート

昨年度に続き、今年もJICA群馬デスクの協力でガーナと本校をオンラインでつないで、国際支援と理数科の教科学習をリンクさせた課題研究がスタートしました。ガーナからの映像に生徒も興味津々でした。



**藤岡** 藤岡市の藤岡中央高校理数科3年の約40人が30日、国際協力機構(JICA)のプログラムでアフリカのガーナに派遣されている越智研一さんとオンラインで交流した写真。同国で理科や算数を教えている越智さんは生徒たちに「現地で手に入りやすい材料で教材を作る提案をしてほしい」と呼びかけた。

越智さんは理数系の教材が不足している現地の教育環境を紹介。生徒たちは教材となる素材を想定しながら「紙コップや糸は手に入るか」「薬品はどのくらいあるか」などと質問した。越智さんは「糸はほとんど手に入らない。薬品はほぼ

ゼロ」などと答えた。同国へ派遣経験があるJICA群馬デスクの宮田峻弥さんが協力した。生徒たちは今後数回、教材提案について話し合い、その成果を発表する。(加藤秀樹)

**作り** ガーナの教材作りアイデア

JICA群馬デスク  
藤岡中央高校  
生徒が

5月31日上毛新聞より

## ■6/1(木)笑下村塾による 3年生対象の主権者教育

笑下村塾による3年生を対象とした主権者教育も今年で2年目を迎えました。今年、お笑い芸人のみのるチャチャさんと響さんが講師として来校し、スライドやゲームを通して楽しく授業をしてくださいました。



★7月1日(土)9:30~15:00文化祭「藤翔祭」が開催されます。ふるってご来校ください。